

はねっと 4

仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

「ぱれっと」には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

春からの新生活に彩りそえる 「コトハジメ」のすすめ

あなたの生活に取り入れることで、ちょっと市民活動や社会貢献につながる取り組みを集めました。

健康な朝のまち仙台で美味しい朝ごはんを充実した1日を

健康的な生活、していますか?健康が大事とはわかっていても、仕事に学業に忙しくて、なかなか難しいのが現実。でも、仲間がいるなら。毎日じゃなくて、月1回頑張ることなら。できるかもしれません。

若者が活躍するまちづくりを目指し2020年度から仙台市が実施している「仙台まちづくり若者ラボ」。2023年度の参加者の中から「健康」に関心のある大学生と社会人で結成された「朝ごはんチーム」が、「仙台を健康な朝のまちにしよう」と、月に1回みんなで仙台駅周辺のお店に集まって朝ごはんを食べるアクションを実践しました。感想を聞くと「想像以上に気分が良かった。その日1日元気に過ごせた」とメンバーの阿部 弥琴さん、大友 希美さんは声を揃えます。知らなかったお店、知っていたけど行ったことはなかったお店に行くなど、仙台のまちを知ることもつながりました。

SNSでは実際に訪れたお店の紹介をしているので、朝活をしたい人の参考になります。早起きをして、朝ごはんを食べて、健やかな1日を過ごしてみませんか?



▲早起きのご褒美のような、美味しい朝ごはん



▲お腹も心も満たされて、「ごちそうさま」。

仙台まちづくり若者ラボ2023 朝ごはんチーム

開催情報などは
インスタグラムで
チェック



仙台まちづくり若者ラボとは



宮城の資源を生かし「おいしい」をつなごう

ノロンボという深海魚を知っていますか?食材としてなじみが薄いことや、身が少なく毒もあって扱いにくいことなどを理由に、漁獲量が多いにもかかわらず廃棄されてきた魚です。このノロンボを食べられるように加工し、「石巻深海魚フライ」を開発したのが、宮城の食に関わる企業や団体で構成される一般社団法人食のみやぎ応援団です。これまで食べられてこなかった「未利用資源」を活用することで、食品ロス解消や資源温存につなげようと、産学官が連携して研究開発に取り組んでいます。また、監修を手掛ける自動販売機「東北うまいもの食堂」では、SDGs(持続可能な開発目標)をテーマに地元宮城に関わるオリジナル商品を販売中です。地域の資源を見直すことが、将来にわたっておいしい食を味わえる未来につながります。商品を購入する選択肢として、まずは知ることから始めてみませんか。



▲クセのない味わいが魅力の「石巻深海魚フライ」

自販機
「東北うまいもの食堂」の
設置場所はこちらから



農と人と生き物とふれあう 農作業の魅力

こよみのあしおとは、宮城県内の農家と「農作業をしてみたい!」という人をつなぎ、草とりや収穫、畑の片付けなどの農作業イベントを月に1~2回開催しています。毎年12月頃の農作業イベントは「収穫祭」と銘打ち、参加者みんなで餅つきをするのが恒例です。日頃お店で買っている野菜がどのようにできるのかを目の当たりにしたり、農家さんにおすすめの調理法を教わったり。他にも農地に住む生き物との出会いがあったり、植物のたくましさを知ったりと、農作業をしながら、人や自然とふれあえるのが活動の魅力です。参加者からは「達成感がある」「土に触れる作業が心地よい」と、充実感にあふれた感想が届いています。食や農業、自然環境に関心がある人、野外で活動したい人、体を動かしたい人におすすめです。



▲収穫後のナス畑の片付け。みんなで力を合わせた結果、こんなに綺麗になりました!

こよみのあしおと



地域の人で使う・育てる居場所 ~たとえばこんな居酒屋のカタチ~

「地域の人が集まれる場所をつくりたい」という思いから、泉区館に2023年10月オープンした居酒屋兼食事処があります。その名も「食日和みつけ」です。館は郊外の住宅地で商業施設は少なく、地域の人が集まって飲みたい時にに行ける店がありませんでした。「自分たちのまちを何も無い寂しいまちにしたい」と立ち上がったのが、館の住人でもある店主の芳賀さんです。閉店した居酒屋を厨房機器や食器を含めて借り受け、仕事の傍ら地域の人やボランティアとともに3か月かけて整えました。

営業は主に金曜、土曜、日曜ですが、開店から1か月足らずで地域の人が続々と来店。「館で営業してくれてありがとう」と喜ばれ、忘年会・新年会シーズンには、地域のシニアサークルや、スポーツ少年団の保護者などで賑わいました。また、店内には館の地図を掲示。そこに、事務所がある人は会社のアピールメモを貼り付けたり、自宅がある人は来店回数のピンを立てたりできるようにしたところ、地域の人の方が面白がって参加。近所なのに知らずにいた情報との出会いや、住民同士の交流につながっています。地域の人で育てていく居場所は、あなたの身近にもあるかもしれません。関わってみることを始めてみませんか。



▲地域の人で賑わう週末

食日和みつけ



ブログ▲



▲赤提灯が目印の外観

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 4月10日(水)、24日(水)

開館時間 月曜日~土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2024年4月1日

デザイン PEACE Inc.

[X(エックス)]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

